

平成27年度 沖縄農林水産業の情勢報告

観光と連携した沖縄農林水産業・農山漁村の活性化



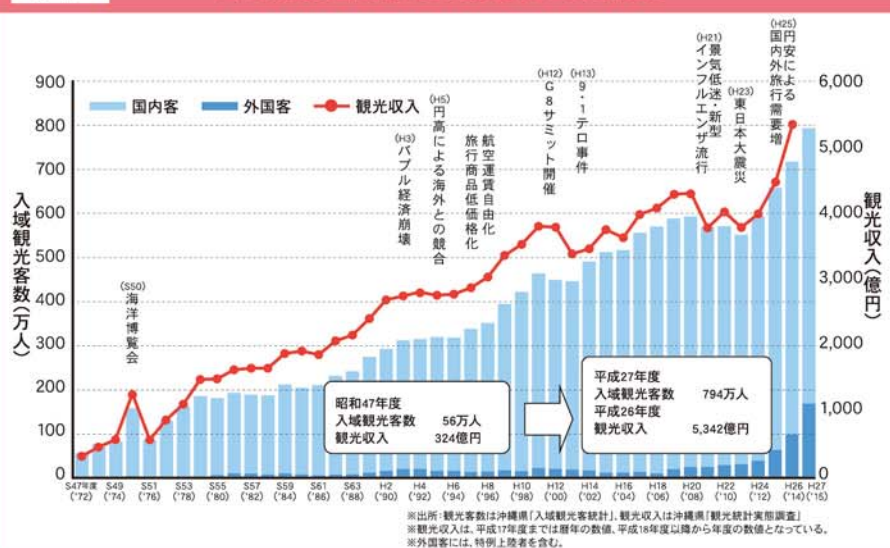
農林水産部では、平成27年度の沖縄の農林水産業の動向等を取りまとめた「平成27年度沖縄農林水産業の情勢報告」を8月に公表しました。情勢報告の特集では、沖縄にとって重要な産業となっている観光と、農林水産業・農山漁村との連携について取り上げ、その現状を明らかにするとともに、多様な連携事例や各種の推進施策等を紹介しています。

(1) 沖縄の観光をめぐる実態

① 入域観光客数と観光収入

平成26年度の入域観光客数は717万人であり、平成27年度の入域観光客数は、3年連続で過去最高となる794万人(対前年度比約11%増)で、うち外国人観光客は約5分の1を占める167万人(同69%増)と、初めて100万人を突破しました。また、平成26年度の県内の観光収入については、観光客一人当たり消費額の増加、観光客数の大幅な増加により、2年連続で過去最高を更新し、5,342億円(対前年度比19.3%増)となりました(図1)。

図1 入域観光客数と観光収入の推移



資料:沖縄県観光政策課作成

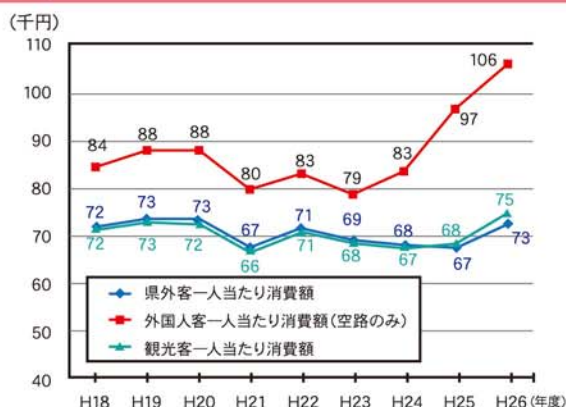
② 観光客の消費の動向

観光客一人当たりの消費額は、外国人観光客が3万円余り高くなっており、「爆買い」に見られるような外国人観光客の活発な消費は、沖縄経済の活性化に大きく貢献しています(図2)。

また、一人当たりの消費額を項目別に見ると、「飲食費」が22.6%、「土産・買物費」が22.0%となっており、宿泊費の次に高く、大きな割合であるといえます(図3)。

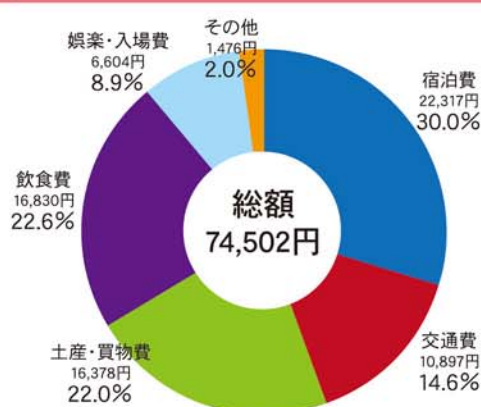
今後は、宿泊サービスだけでなく、飲食や土産についての消費を維持・増加させることで、安定的な観光収入による観光産業の持続的な発展を推進し、沖縄経済を活性化させていくことが重要です。

図2 県外客・外国人客一人当たり消費額推移



資料:沖縄県「観光統計実態調査」、平成26年度外国人観光客(空路)実態調査概要報告(速報値)に基づき沖縄総合事務局作成

図3 平成26年度 観光客一人当たり消費額内訳



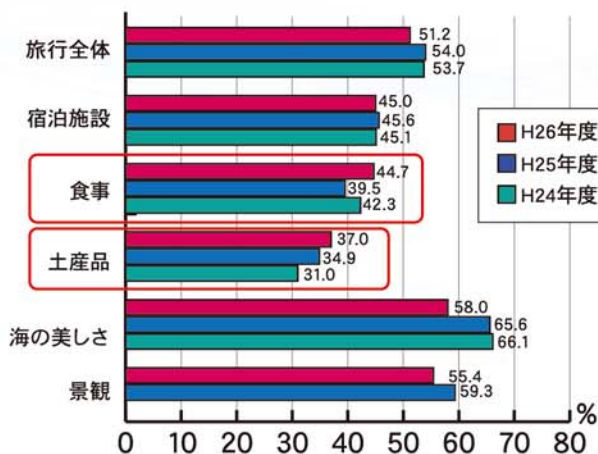
資料:沖縄県「平成26年度観光要覧」

(2) 展望と施策

① 観光客の満足度

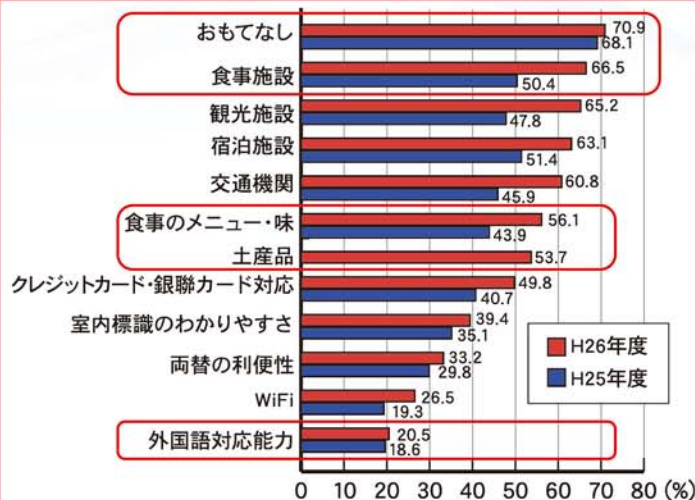
沖縄を訪れる国内観光客の「食事」、「土産品」の満足度は、他の項目に比べ、増加傾向となっています(図4)。一方、外国人観光客については、「おもてなし」、「食事施設」、「食事のメニュー・味」、「土産品」の満足度は高い状況ですが、「外国語対応能力」の満足度はかなり低い状況です(図5)。

図4 国内観光客の満足度



資料：沖縄県「観光統計実態調査」に基づき沖縄総合事務局作成

図5 外国人観光客(空路)の満足度



資料：沖縄県「外国人観光客統計調査」に基づき沖縄総合事務局作成

② 展望

沖縄における入域観光客と観光収入は近年好調に推移しており、インバウンドなどの満足度等からすると、今後の沖縄における観光産業の成長を持続させるためにも、農林水産業・食品関連産業が観光産業と連携し、急増するインバウンドをターゲットとした県産食材の周知・浸透、6次産業化による商品の高付加価値化、外国語対応などの販売体制の強化などを推進することが重要となっています。

③ 施策

沖縄総合事務局農林水産部では、平成28年度において、農産物直売所等に来訪するインバウンドなどを対象とした、農林水産物や農家民宿等についてのヒアリングやアンケートなどを実施し、その結果からニーズ等を把握して、県産品の消費拡大などの可能性について調査・分析を行う等、沖縄におけるインバウンドの実態調査を行います。

インバウンド等調査事業の概要

(沖縄におけるインバウンドの農林水産物・食品及び農家民宿の実態調査)

調査目的・概要・狙い

クルーズ船利用者及び農産物直売所等に来訪するインバウンドを対象に、農林水産物・食品の消費実態や関心等についてヒアリング及びアンケート等を実施することにより、今後の沖縄におけるインバウンド向けの農林水産物・食品の消費拡大や輸出の可能性について調査や分析等を行う。

また、沖縄における農家民宿及び農林漁業体験を利用するインバウンドを対象に、農家民宿等についてのヒアリング及びアンケート等を実施することにより、農家民宿等に対するニーズ等を把握し、今後の沖縄におけるインバウンド向けの農家民宿等の可能性について調査や分析等を行う。

背景

・近年、沖縄を訪れるインバウンドが増加しているが、農林水産物・食品・農家民宿等の現状に関する詳細なデータが整理されていない。
また、TPP合意を踏まえ沖縄県の農林水産業の競争力強化の一つの方策として、農林水産物・食品の消費や輸出の拡大、農家民宿等の取組の推進を図っていくことが重要。

調査内容・体制等

調査内容①「農林水産物・食品の消費実態調査」

調査対象：インバウンド(中国、台湾等)
対象者：クルーズ船利用者をはじめ、農産物直売所及び直売イベント等に来訪するインバウンド
調査項目：農林水産物・食品の消費実態や関心等についてヒアリング及びアンケート等

調査内容②「農家民宿等の実態調査」

調査対象：農家民宿等を利用するインバウンド及びその受入農家
対象者：3~4地区
調査項目：農家民宿等に係るニーズや課題等についてヒアリング及びアンケート等

目標

調査内容①

- ・農林水産物・食品の消費実態把握
- ・農林水産物・食品の輸出可能性分析

調査内容②

- ・農家民宿等に係るニーズ等の把握
- ・報告会の開催

※「平成27年度沖縄農林水産業の情勢報告」特集第2節では、様々な農山漁村と観光の連携事例も紹介しています。